



Kobe City University of Foreign Studies
神戸市外国語大学

Citizens' Chat Café 2025

最終報告書



著者： Mahana Gonno, Rajeev Kumar Singh, Montserrat Sanz

目次

挨拶	2-3
CCC とは？	4
背景	4
目的	4
イベント概要	4-5
開催日程・場所・時間	6
結果	7-12
月別のテーマ	13
学生スタッフの声	14-18
結論	19
来年度に向けての改善点	20
参考資料	21-25
連絡先.....	26

挨拶

モンセラット・サンス教授

私は今年もシン准教授と密に協力しながら、市民の皆さまと大学をつなぐ貴重な機会となった Citizens' Chat Café を開催できたことを、大変光栄に思います。CCC は、真の意味で「世代を超えた」「国際的な」交流の場へと成長しました。中学生・高校生、大学生、社会人、そして80代の参加者まで、同じテーブルに座り、自分の目標、経験、意見、そして将来の希望について語り合いながら英語を实践できる場は、他にほとんど存在しません。



また、学部生と留学生がこれほど有意義に交流できる機会も、学内では多くありません。週を重ねるごとに、神戸市外大の学生たちは日本語を学ぶ留学生とより深い関係を築き、教室を超えたつながりが生まれています。さらに、学生マネージャーやサブマネージャーにとっては、運営経験を積み、教職員と協働する貴重な機会にもなっています。

今年特に印象的だったのは、参加者が英語で自分の考えを共有することに、以前よりも自信を持つようになったことです。特に、会話の中に「ユーモア」が自然に生まれるようになった点は象徴的でした。英語で冗談を言い、笑い合えるようになったことは、CCC の雰囲気がいかに温かく、活気に満ちているかをよく表しています。神戸市外大のキャンパスは活気にあふれ、学生たちは機知に富み、オープンマインドで、学びと成長を後押しする環境が整っています。私たち教員も、オープンさ、寛容さ、多様な視点への尊重を大切にしながら、高い基準と明確な期待を持って学生を支えています。CCC は、学生が「ハミダス (HAMIDASU)」一勇気を持って一歩踏み出し、自分の価値に気づく一ための場でもあります。

今年参加して下さったすべての学生ファシリテーター、そして参加者の皆さまに心より感謝申し上げます。来年もまた、意義深い出会いと対話が生まれることを楽しみにしています。

ラジブ・クマル・シン准教授

今年も神戸市外国語大学にて Citizens' Chat Café (CCC) を開催できたことを、大変嬉しく思います。CCC は、学生と地域住民が互いに学び合い、文化や経験を共有しながら英語で交流できる、非常に意義深いプラットフォームとして定着してきました。

今年は、国際住民や子どもたちを含む多くの新しい参加者を迎えることができ、昨年からのリピーターも増えました。参加者の英語での表現力や自信が昨年よりも明らかに向上しており、その成長を見ることができたのは非常に励みになりました。

学生による国紹介や海外経験のプレゼンテーションは、参加者にとって新しい知識や視点を獲得の機会となりました。また、テーブルディスカッションでは、学生スタッフと参加者が多様な視点を持ち寄り、活発な意見交換が行われました。学生たちにとっても、社会人やシニアの方々から仕事や人生経験を聞くことで、世界の広さや多様な生き方を学ぶ貴重な機会となりました。今年の大きな変化として、子ども向けの特別テーブルを設けたことが挙げられます。学生スタッフがサポートしながら、簡単な英会話やスクラブルなどのゲームを楽しめる場をつくりました。最後の共有時間では、子どもたちが自信を持って発表する姿を見ることができ、とても嬉しく感じました。

CCC は、子どもからシニアまで、あらゆる世代が同じテーブルで英語を使って交流できる場として成長しています。学生ファシリテーターのエネルギーと温かいサポートによって、この場が成り立っています。

最後に、大学の理解と支援、サンス教授の情熱的な協力、そして参加者・学生スタッフの皆さまに深く感謝申し上げます。来年も皆さまの積極的な参加を心よりお待ちしております。



CCC とは？

Citizens' Chat Café (CCC) は、神戸市外国語大学 (KCUPS) が主催する国際交流イベントです。「神戸外大生と英語で話そう！」をスローガンに、地域住民と外大生 (留学生を含む) が、英語で気軽に交流できる温かいコミュニケーションの場を提供しています。

CCC は 2024 年 9 月にスタートし、初年度は 合計 192 名が参加しました。今年度は参加者が大幅に増え、8 回の開催で 400 名以上が参加するイベントへと成長しました。

背景

このイベントは、神戸市外国語大学の魅力を発信し、地域社会とのつながりを強化する取り組みの一環として、昨年度に始まりました。筑波大学で開催されている *City Chat Café* に参加した経験をもつシン准教授がそのアイデアを紹介し、サンス教授の協力を得て、KCUPS での開催が実現しました。現代社会では、地域住民と大学生が直接英語で交流する機会が限られているため、CCC は開始当初から多くの参加希望者を集めました。この強い反響を受け、イベントは今年度も継続して開催されることになりました。CCC は、幼稚園児から大学生、そして 70 代以上のシニアまで、あらゆる年齢層の参加者を受け入れてきました。その幅広い参加層が、CCC の大きな特徴であり魅力となっています。

目的

CCC の目的は、大学、日本人学生、留学生、そして地域社会とのつながりを強化し、相互の文化理解を深めることです。

さらに、CCC は地域住民に対して、留学生と英語で交流する機会を提供し、英語を実践的に使う場をつくることを目指しています。このように、CCC は単なる英会話イベントではなく、地域と大学が互いに学び合う文化交流の場として機能しています。

イベント概要

CCC の各回では、参加者は 5~7 名のテーブルに分かれて着席します。受付後、参加者はランダムにテーブルへ案内され、各テーブルには必ず 1 名以上の大学生ファシリテーターが配置されます。イベントはまず自己紹介から始まり、その後、事前に用意されたテーマに基づいて、参加者が英語で経験や意見を共有するディスカッションが行われます。セッションは前半・後半の 2 部構成で、間に 10 分間の休憩があります。休憩中には席替えが行われ、より多くの人と交流できるよう工夫されています。

後半はより自由度が高く、自由なテーマで英語の会話を楽しむ時間として設定されています。

終了前には、各テーブルで話し合った内容のハイライトを全体で共有する時間が設けられています。この時間は特に盛り上がり、学生ファシリテーターだけでなく、参加者自身も積極的に発表する姿が見られます。そのため、CCC の雰囲気を象徴する 活気と一体感のある時間となっています。

新たな取り組み

10月以降、CCC ではいくつかの新しい取り組みを導入しました。これらの取り組みは、リピーターの参加者により深い体験を提供し、学生にとってもより有意義な学びの機会を生み出すうえで効果的であることが分かりました。

1. 学生によるプレゼンテーション

テーブルディスカッションの前に、アイスブレイクとして学生による短いプレゼンテーションを実施しました。

- 10月：イタリア人留学生 ニコロ が故郷の歴史と文化を紹介
- 12月：英文学科4年の ミキ がザンビアでの海外ボランティア経験を紹介

質疑応答も含め、参加者とのやり取りは非常に活発で、会場は大いに盛り上がりました。

2. テーマ関連の写真・画像の導入

10月からは、その日のテーマに関連する写真や画像をスタッフが1枚選び、印刷またはタブレットで提示する取り組みを始めました。

参加者からは、

- 会話の導入がしやすくなった
- 話題に集中しやすくなった という好意的なフィードバックが寄せられました。

開催日程

CCC のセッションは、毎月土曜日に1回のペースで開催されました。ただし、6月のみ2回の開催が行われました。

● 2025 年度の開催日

- 6月7日
- 6月28日
- 7月5日
- 9月20日
- 10月11日
- 11月8日
- 12月6日

● 2026 年度の開催日

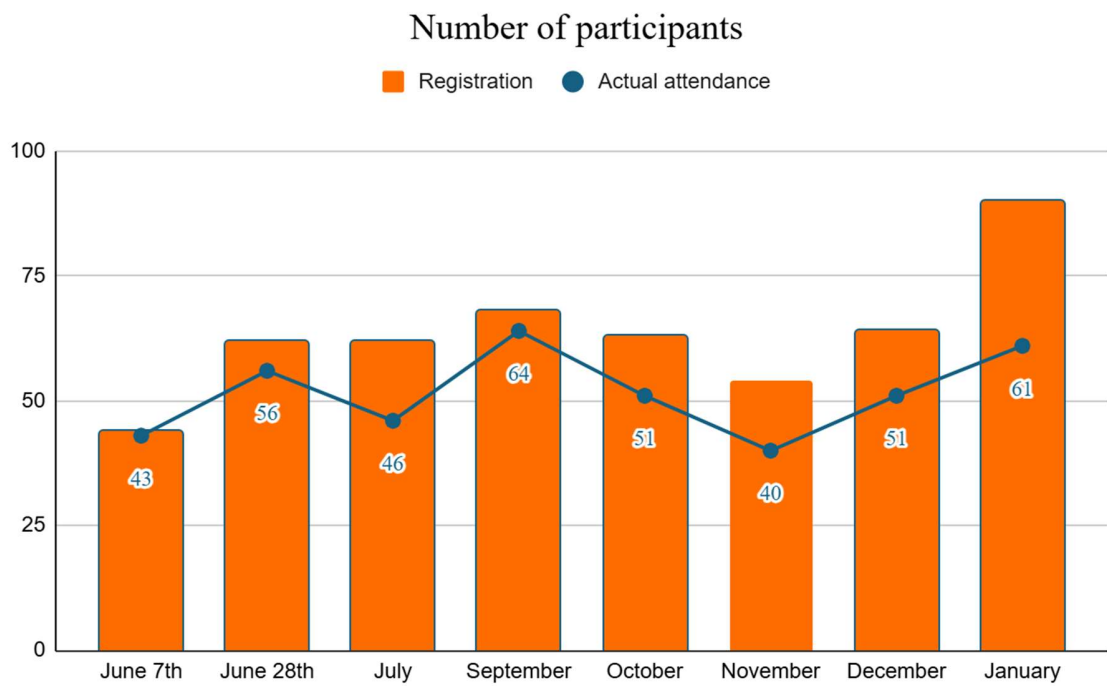
- 1月24日

開催場所・時間

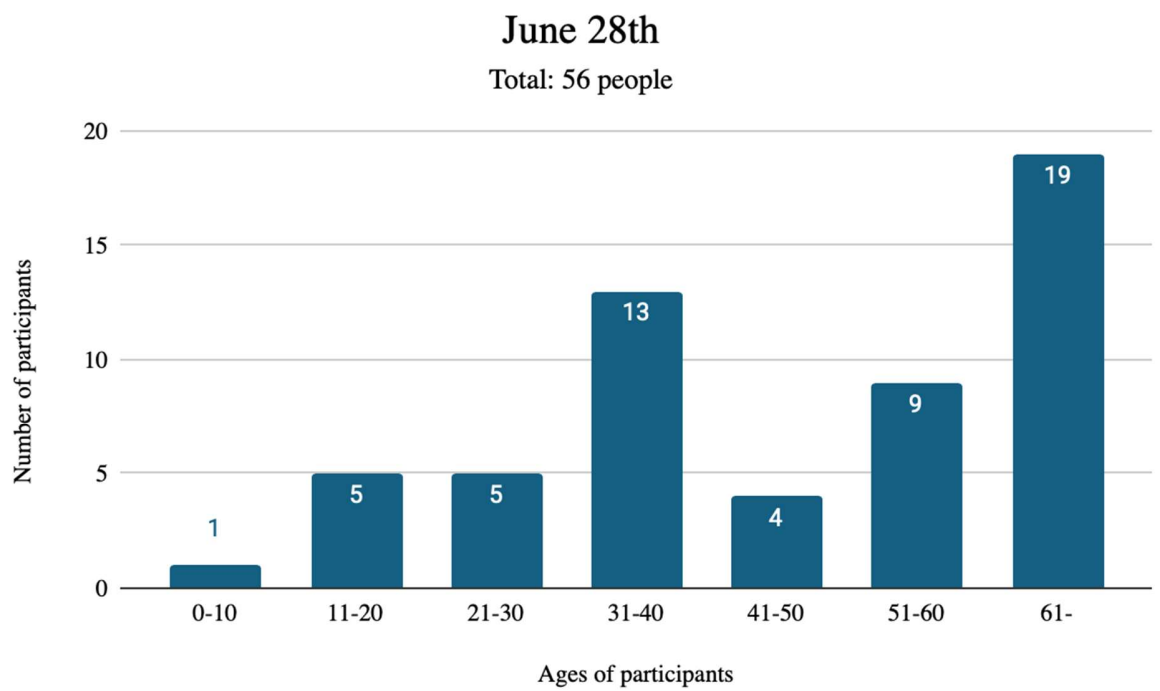
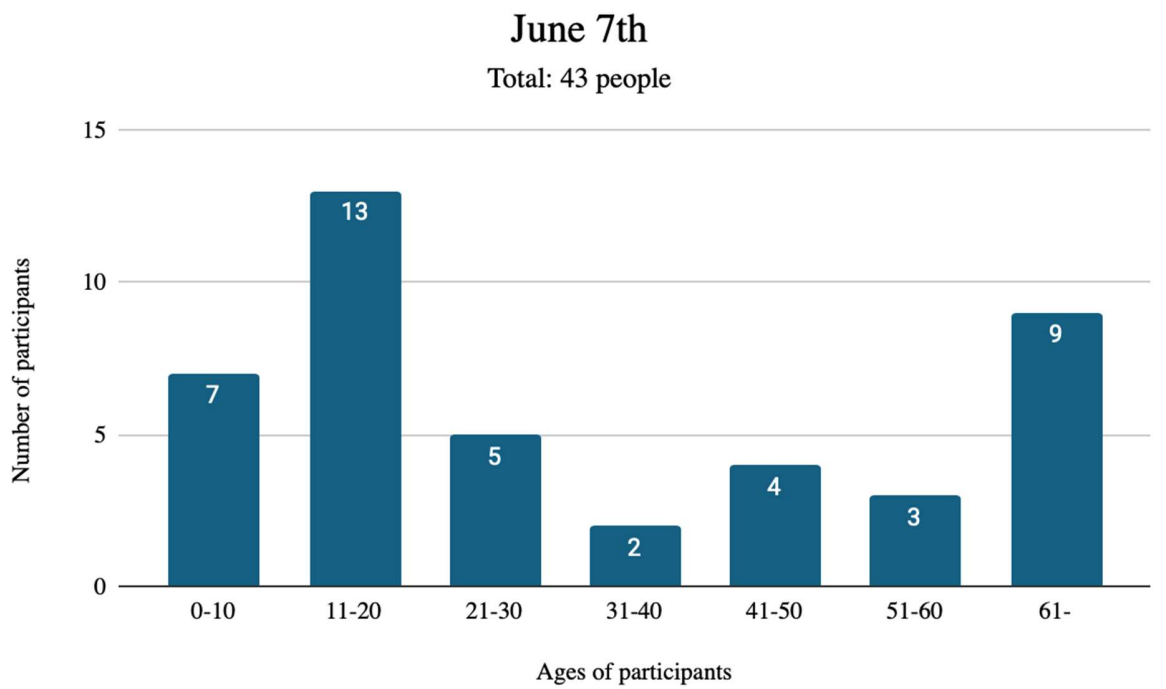
CCC のすべてのセッションは、神戸市外国語大学（KCUPS）ミキホールにて開催されました。開催時間は毎回共通で、13時30分～15時30分の2時間でした。

結果

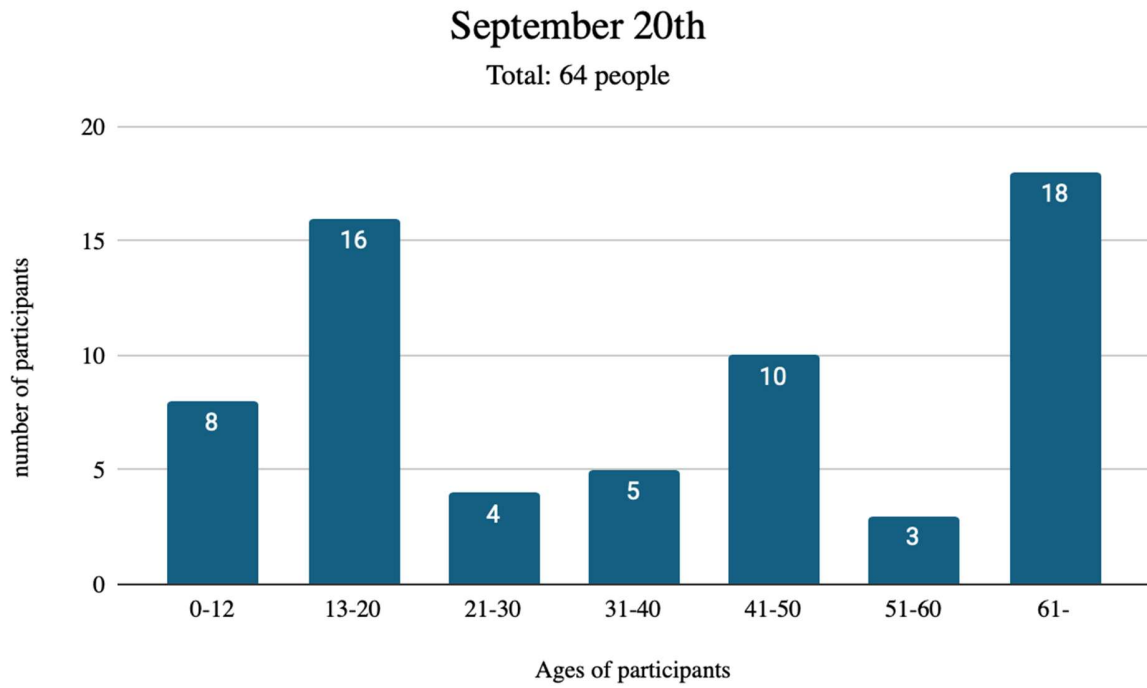
1. 各回の参加者数



2. 参加者の年齢層

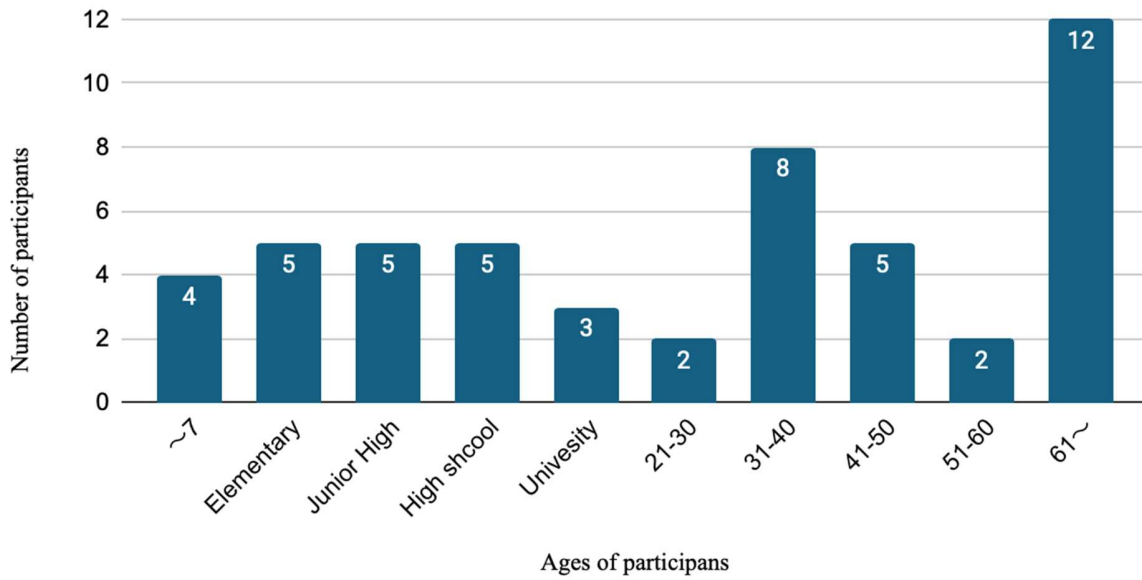


7月のセッションについては、年齢分布や参加者の属性に関する詳細データが記録されていなかったため、報告書には含まれていません。



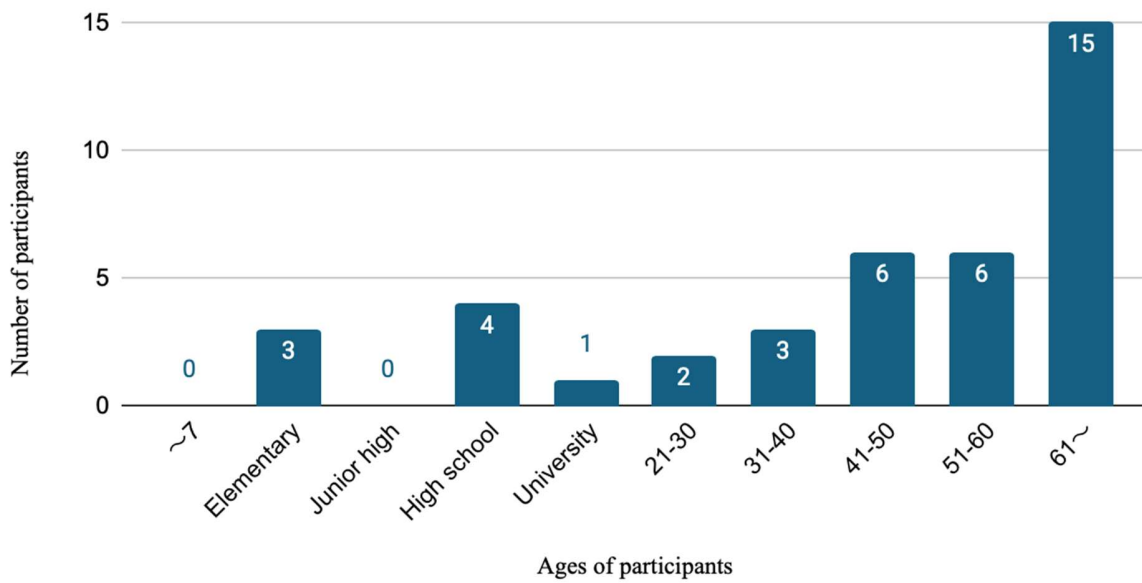
October 11th

Total: 51 people



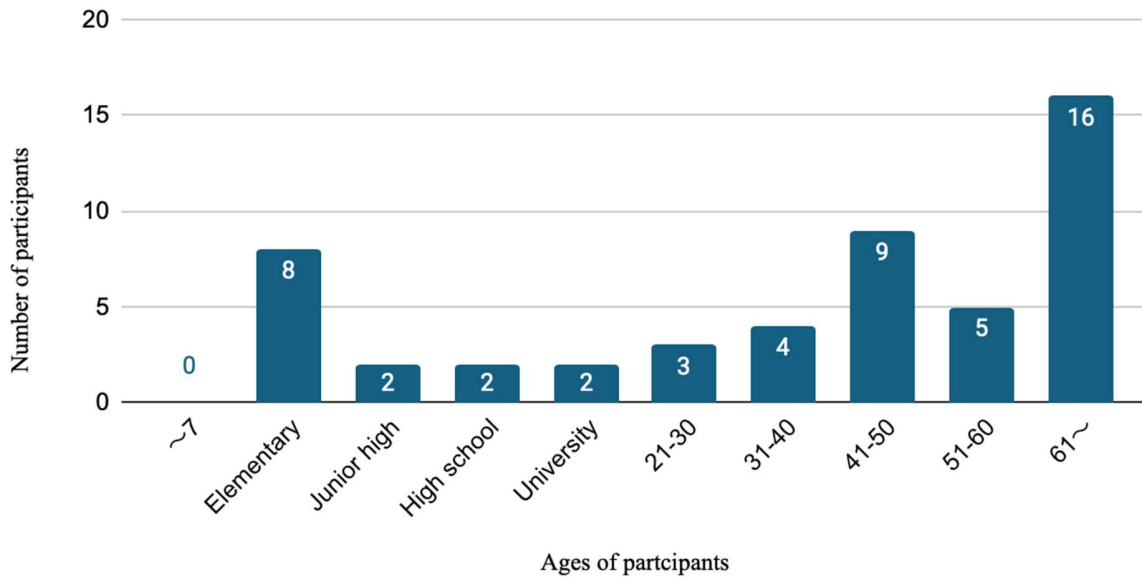
November 8th

Total: 40 people



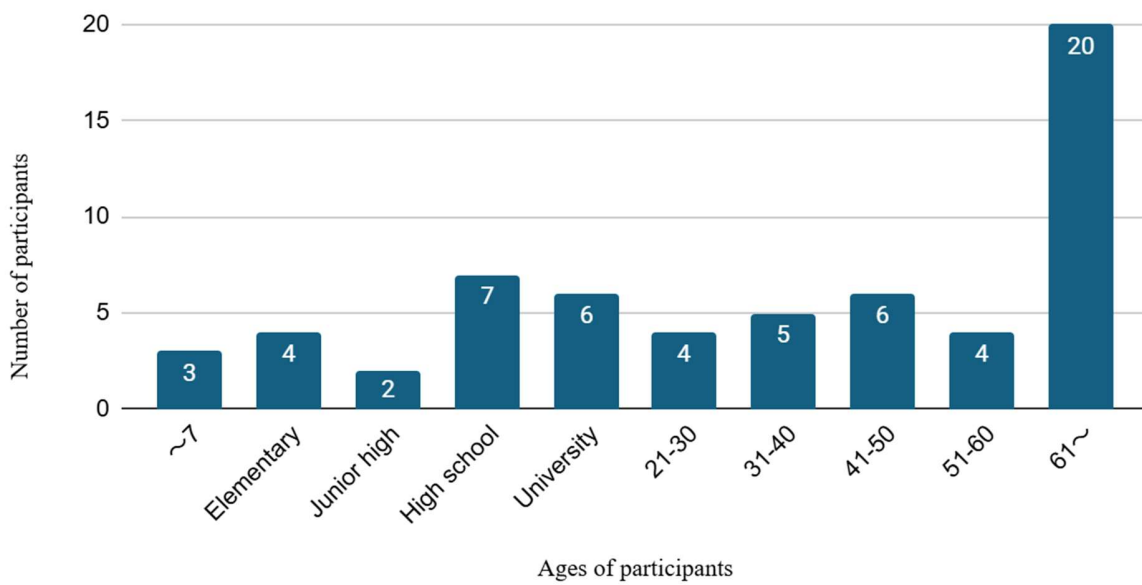
December 6th

Total: 51 people

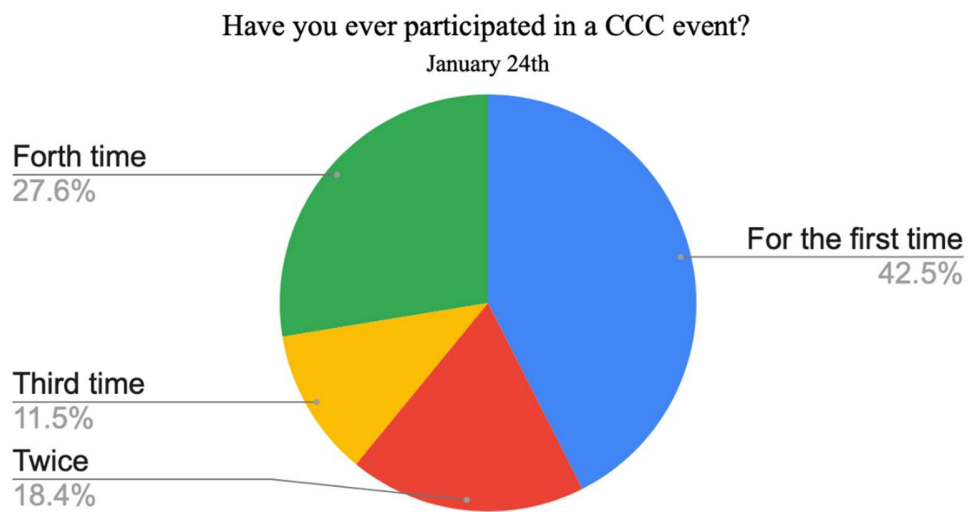
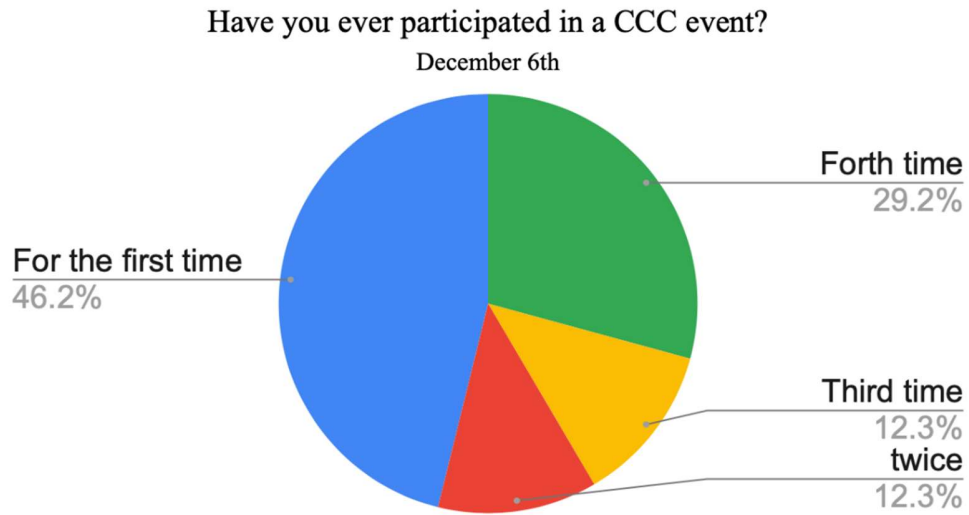


January 24th

Total: 61 people



3. 参加者の参加頻度



月別テーマ一覧

日程	テーマ
6月7日	外国語を学んだきっかけ
6月28日	子供の趣味と大人の趣味。興味の変化
7月5日	夏の目標
9月20日	夏の思い出
10月11日	ハロウィーン
11月8日	最も印象に残っているできごと
12月6日	クリスマス
1月24日	新年の抱負

学生スタッフの声

<p>権野万花</p>	<p>6月/9月/10月/11月/12月/1月</p>
	<p>私はこの素晴らしいプロジェクトの一員になれたことを光栄に思っています。毎回、多くの素敵な人々と平和で活気ある時間を「英語」というひとつの共通点を通して共有できました。今年はマネージャーとして参加し、今まで気づかなかった多くのことを学びました。</p> <p>受付で参加者を迎えると、最初は緊張した表情の方もいましたが、会話が始めると徐々に表情が柔らかくなり、最後には笑顔になっていました。常連の参加者同士が仲良くなり、再会を楽しむ姿を見るのも嬉しかったです。</p> <p>フィードバックを読むたびに、このイベントが多くの人に喜ばれていることを実感し、外大を選んでよかったと改めて思いました。このイベントが今後さらに多くの人に愛されることを願っています。</p>
<p>中井美希</p>	<p>6月/7月/10月/11月/12月/1月</p>
	<p>CCC は英語を話す練習に最適な機会です。何度も参加している方々が、回を重ねるごとに英語に自信を持ち、積極的に質問したり反応したりする姿が印象的でした。</p> <p>CCC では誰も他人の英語を笑ったりしません。</p> <p>この温かい環境こそ、多くの参加者が繰り返し参加する理由だと思います。</p>
<p>稲森玲菜</p>	<p>6月/7月/9月/10月/11月/12月/1月</p>
	<p>このイベントに参加できたことを光栄に思います。さまざまな背景を持つ多くの人と出会い、多くの新しいことを学びました。CCC がなければ、これほど幅広い年代の人と話す機会はなかったと思います。</p>

ロシーニ・ニコロー	6月/7月/9月/10月/11月/12月/1月
	<p>CCC は単に英語を話す場ではなく、神戸の市民と交流し、少しでも役に立てる素晴らしい機会でした。日本に来る前から望んでいた経験のひとつが実現しました。</p>
フアン・アンゴスト	6月/9月/10月/11月/12月
	<p>神戸や世界中から来た多くの興味深い人々と出会える素晴らしいイベントに参加できたことに感謝しています。幅広い年代の参加者と交流することで、多様な視点や経験を学ぶことができました。</p>
アレクサンドラ・カルニセロ	9月/10月/11月/12月
	<p>さまざまな年齢や文化背景を持つ人々と知り合うことができ、とても良い経験になりました。日本文化について多くを学び、自分の文化を共有することもできました。</p>
高須賀泰雅	6月/9月/11月/1月
	<p>市民チャットカフェのスタッフとして参加するのは今年で2年目でした。2025年の思い出の一部になる、とても貴重な経験でした。</p>

<p>曾根花果</p>	<p>7月/10月/11月/12月/1月</p>
	<p>最初は神戸出身ではなかったため緊張していましたが、参加者の皆さんがとても優しく、毎回の会話を楽しむことができました。英語で一生懸命コミュニケーションを取ろうとする姿勢が、このイベントの魅力だと思います。</p>
<p>平野彩空</p>	<p>6月/7月/10月/11月/1月</p>
	<p>今年、私は初めてスタッフとしてイベントに参加しましたが、それ以前はずっと参加者として参加していました。とても貴重で意味のある経験になりました。CCCには子どもから高齢の方まで幅広い年齢層の方が参加されるため、毎回さまざまなお話を聞くことができ、毎回新しい学びがあります。来年も参加者の皆さんが楽しめるよう、引き続き頑張りたいと思います。</p>
<p>クラシミラジェノヴァ</p>	<p>6月/7月</p>
	<p>Citizens' Chat Caféに参加できたことを本当にありがとうございます。この取り組みは、日本人参加者だけでなく、学生ボランティアにとっても非常に有益です。さまざまなテーマについて話し合うことで、誰もが自分の意見を共有し、他の人の話を聞きながら視野を広げることができます。参加者はあらゆる年齢層・社会層から集まっているため、異なるライフスタイルや価値観、目標について多くを学ぶことができます。CCCの主な目的は英語を練習することですが、ボランティアとして参加することは、多くの人に自分の考えや意見を表現する機会を提供するという意味もあります。日常生活ではなかなか得られない機会です。そのため、CCCの各回は双方に特別な充実感を与えてくれると感じています。</p> <p>テーマについてですが、より幅広いテーマを追加しても良いと思います。例えば、「好きな色」「懂れている職業」「印象的な子どもの頃の思い出」「将来の夢」などです。これらのテーマは、参加者が自分の文化や価値観を共有するきっかけとなり、聞き手にとっても多くの学びが得られると思います。</p>

<p>館原こころ</p>	<p>6月/9月/1月</p>
	<p>地域の方々と英語で会話できる素晴らしい機会でした。参加者は幅広い年齢層・背景を持っており、貴重な気づきを得て視野を広げることができました。ファシリテーターとして、多様な背景を持つ参加者同士の会話を導くのは少し難しい部分もありましたが、この貴重な経験をととても楽しむことができ、自信にもつながりました。来年の CCC でまた皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。</p>
<p>ダイアナヴェラ</p>	<p>6月/9月/11月</p>
	<p>このイベントに参加できたことに本当に感謝しています。お話した方々から多くのことを学び、同時に私自身の経験からも何かを学んでいただけたと思います。特に、さまざまな年代の方々とお話しし、ストーリーを共有できたことがとても楽しかったです。人生を異なる視点から見るときっかけにもなりました。また、参加者の中には、他のイベントに招待してくださった方もおり、今後も交流や学びを続けられることを嬉しく思います。</p>
<p>田口真優</p>	<p>6月/7月/10月</p>
	<p>セッション中、参加者の皆さんやスタッフと一緒にとても楽しい時間を過ごすことができました。全員が会話に参加し、英語で話すことを楽しめるようにするのは簡単ではありませんでした。しかし、皆さんが笑顔になり、「楽しかった」「また参加したい」と言ってくれたとき、大きな達成感を感じました。もちろん、私自身も皆さんとの時間を楽しみました。</p>
<p>渡邊梨央</p>	<p>6月/9月/12月</p>
	<p>このイベントに参加できて、とても嬉しく思いました。私は多様な背景を持つ人々と関わり、意見を交換することが好きなので、この場はとても魅力的でした。また、実際のコミュニケーションの場で、話すことも聞くことも含めて英語を積極的に使う機会が得られたことも嬉しかったです。英語を練習できるこの機会は、参加を決めた主な理由のひとつでした。</p> <p>さらに、教室の外で視野を広げられる機会があったことも、参加の大きな動機になりました。さまざまな視点を聞くことで、自分自身の考えを見つめ直すきっかけになり、この経験はとても意味深く、価値あるものになりました。</p>

坂下麗奈	6月 / 10月
	<p>CCC ではとても楽しい時間を過ごすことができました。さまざまな年齢や背景を持つ人たちと話し、交流できたことは、とても貴重な経験でした。CCC から学べることは本当に多く、新しい視点や素晴らしい経験、面白いエピソードなど、たくさんの発見がありました。また、皆が英語を使ってコミュニケーションを取ろうとする雰囲気がとても好きでした。</p> <p>来年の CCC に参加するのも今から楽しみにしています。</p>
ジンウエン	6月 / 1月
	<p>この大学の雰囲気を感ずるために多くの高校生が来てくれて、ここで楽しい時間を過ごしてもらえたことを嬉しく思います。さらに、毎回新しいことを学び、視野を広げることができました。これらの活動に参加して下さった皆さん、本当にありがとうございます。この一員になれたことを心から光栄に思います。</p>
マツサキ メイジェルディー オリト	6月 / 9月 / 11月 / 1月
	<p>CCC への参加は、私にとってとても意義深い経験でした。英語のスピーキング力を向上させるだけでなく、さまざまな文化や価値観について学ぶこともできました。異なる背景や年齢の人々と交流することで理解が深まり、英語でコミュニケーションを取ることに對してより自信を持てるようになりました。</p> <p>また、年齢に関係なく友達をつくることができた点も、とても嬉しいことでした。そのおかげで、毎回のセッションがより楽しく、充実したものになりました。参加者の皆さんが積極的に会話に参加し、イベントを楽しんでいる姿を見るのはとても励みになりました。</p> <p>さらに、回を重ねるごとに参加者数が増えていくのを見て、このプログラムが良い影響を与えていることを実感し、嬉しく思いました。</p>

結論

前年に続いて 2025 年もイベントを継続開催することが決定され、今年度最初のイベントは 6 月 7 日に実施し、最終回は 2026 年 1 月に開催しました。全 8 回のイベントを通して、合計 412 名の参加者を迎えることができました。毎回多くの応募と温かいメッセージをいただき、1 回あたりの平均参加者数は約 52 名となりました。

参加者は幼稚園児から 70 代以上の方まで幅広く、世代を超えた交流が生まれました。昨年から継続して参加している地域住民の方々もおり、CCC のスタッフや他の参加者と顔なじみになる様子も見られ、新たなコミュニティ形成の可能性が感じられました。昨年同様、神戸市外国語大学への進学を検討している中高生の参加もありました。また、家族（小中学生を含む）、親子、兄弟姉妹、友人同士など、さまざまな形での参加が見られました。

さらに、12 月と 1 月の 2 回で実施したアンケートでは、参加者の半数以上が 2 回以上参加しており、約 30%は 4 回以上参加していることが分かりました。新規参加者の割合や年齢層、スタッフ構成は月ごとに異なり、毎回異なるメンバーが集まることで、多様なテーマに基づいた活発な会話が生まれました。

また、このイベントは非常に人気が高まり、神戸市外大サテライトの語学講座の受講生から「英語以外の言語でも開催してほしい」という声が寄せられました。その結果、2026 年 5 月 30 日には、サテライトにて初のスペイン語版 Citizens' Chat Café を開催することが決定しました。この広がりを変に誇りに思うとともに、今後も神戸市民の皆さまのニーズに応えられるよう努めてまいります。

来年度への改善点

前年と比べて、いくつかの変更点がありました。ひとつは申込方法です。これまでは、CCC のメインポスターに添付された同じ Google フォームを使用していました。参加者と運営側の双方が同じフォームで管理できるという利点はありましたが、セキュリティ面を考慮すると、各回ごとにフォームを分ける方が望ましいことが分かりました。

- そのため、次学期からは各回ごとに個別の Google フォームを準備する予定です。
- また、申込フォームを通じて多くのフィードバックが寄せられました。多くの参加者からはイベントに対する肯定的な意見が寄せられましたが、改善に向けた建設的な提案もいくつかありました。
- まず、テーブル配置については、ファシリテーターがテーブルの端ではなく中央に座ることで、よりスムーズなコミュニケーションが可能になり、全員が聞き取りやすくなるという意見がありました。また、1 テーブルあたりの参加者数を 5~6 名程度に制限することで、よりバランスの取れた活発な議論が促されるという提案もありました。
- 次に、トピックの事前告知については、事前にテーマを共有しておくことで、参加者がより準備しやすくなるという意見が寄せられました。このフィードバックを受け、9 月以降、12 月のセッション（テーマ：「クリスマス」）では事前にトピックを告知しました。この取り組みは好評であり、次学期も継続する予定です。
- 最後に、テーブルディスカッション前の挨拶や学生によるプレゼンテーションについては、主に英語で行われていたため、一部の参加者には内容が十分に伝わりにくいという課題がありました。この点を改善するため、重要な案内を英語と日本語の両方で行うこと、またプレゼンテーションに日本語字幕を追加することが検討されています。

参考資料

1. 英語版ポスター



**LET'S TALK WITH
GAIDAI STUDENTS!**
WOULD YOU LIKE TO PRACTICE YOUR ENGLISH?

**KOBE
CITIZENS
CHAT CAFÉ**

AT THIS INTERNATIONAL EXCHANGE EVENT,
LOCAL RESIDENTS CAN ENJOY CASUAL
ENGLISH CONVERSATIONS WITH GAIDAI'S
INTERNATIONAL AND JAPANESE STUDENTS!

Date:
<2025> 6/7, 6/28, 7/5, 9/20,
10/11, 11/8, 12/6
<2026> 1/24 **SAT**

Location: KCUFS, Miki Hall
Time: 13:30-15:30
Capacity: 50 people
Fee: Free (Reservation required)

APPLY FORM **OFFICIAL LINE** **OFFICIAL INSTAGRAM**



If you wish to cancel, please contact us through the official LINE.
Due to limited seats, please refrain from cancelling without notice.
In that case, we may cancel your application for further events.

KOBE UNIVERSITY OF FOREIGN STUDIES, KCUFS PROMOTION PROJECT 2025
SECRETARIAT: PROF. MONTSERRAT SANZ, PROF. RAJEEV KUMAR SINGH

FOR ANY INQUIRIES, PLEASE CONTACT US EXCLUSIVELY AT THE FOLLOWING.
EMAIL: citizenschatcafe@gmail.com DO NOT CONTACT THE SCHOOL OFFICE DIRECTLY.

2. 日本語版ポスター



KOBE CITIZENS CHAT CAFÉ



地域住民の方が外大の留学生や日本人学生と
英語で気軽に楽しく会話できる国際交流イベントです！



主催：神戸市公立大学法人 神戸市外国語大学
神戸市外国語大学 魅力発信事業2025

事務局：モンセラット・サンス教授
ラジブ クマル シン准教授

日程

<2025> 6/7, 6/28, 7/5, 9/20,
10/11, 11/8, 12/6

<2026> 1/24

土

場所：神戸市外国語大学
三木記念会館

時間：13:30-15:30

定員：50名/回

参加費：無料（予約必須）

申し込みフォーム



公式LINE



公式インスタグラム



申込を取り消す際は、公式ラインよりご連絡ください。
席に限りがあるため、無断キャンセルはお控えください。
無断欠席されますと以降の申込を取り消す場合があります。

当イベントに関する問い合わせは下記のメールにてお願いします。
Email: citizenschatacafe@gmail.com
学校への直接のお問い合わせはご遠慮ください。

3. セッション中の写真



イベントの始まり



学生のプレゼンテーション



会話の様子



子どもテーブル



休憩時間



スタッフグループ写真



最終回での集合写真

Citizens' Chat Café 2025

Final Report



公式メールアドレス: citizenschatcafe@gmail.com

公式インスタグラム・ライン

参加者との連絡のために、公式 LINE アカウントが開設されました。イベントの最新情報、開催報告、キャンセル連絡などを共有するために利用されています。

